

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市民	災害復旧の迅速化や土地に関するトラブルを防ぐ。
現状・課題	法務局保管の地図（公図）及び簿冊の多くは明治初期に作成されていたこともあり、土地の形状や面積が現地と整合していない場合があるため、地籍の調査・測量を行い地籍の明確化を図る。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	国土調査法
事務事業概要	一筆地ごとの土地について、その所有者、地番、地目を調査するとともに、境界の確認、地籍（面積）の測量を行い、現況にあった正確な地図（地籍図）及び台帳（地籍簿）を作成する。	
令和３年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	中野第３工区地籍調査事業	0.20km ²
	中野第４－１工区地籍調査事業	0.19km ²
	中野第４－２工区地籍調査事業	0.47km ²

事業イン プット コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	59,058,000	64,631,000	51,594,000
		補正・流用等	円			－
		合計	円	59,058,000	64,631,000	51,594,000
	決算（見込）額 A		円	47,083,599	64,631,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円	810,000	1,720,000	
		県支出金	円	20,250,000	19,315,500	16,425,000
		市債	円			
		その他特定財源	円			
	R2は予算額	一般財源	円	26,023,599	43,595,500	35,169,000
	正規職員数		人	3.42	2.98	2.98
	人件費 B		円	22,031,640	19,280,600	26,301,480
総事業費 A＋B		円	69,115,239	83,911,600	77,895,480	
市民 1 人当たりコスト		円	1,625	1,980	1,849	

成果指標	アウトカム	方向		令和元年度	令和2年度	令和3年度
地籍調査閲覧の完了		維持	目標	4/214 工区	6/214 工区	7/214 工区
			成果	4/214 工区	6/214 工区	—
			目標			
			成果			—
成果指標と目標値を設定した理由	第3工区における地籍簿・地籍図の閲覧完了					

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	地籍調査費負担金を活用し、計画的に地籍調査事業を推進する。						

事務事業名	国土調査事業	部・局	建設水道部
		課・室	道路河川課
		係	国土調査係

[illegible]